

2006

新年号



442

広 報

かわち



KOHO  
KAWACHI

迎春

本年も相変わりますませず  
よろしくお願い致します

平成十八年 元旦

河内町議会議員一同  
河内町役場職員一同



# 誇れる町 らをめざして



河内町長  
野高貴雄

新年 明けましておめでとうござ  
います。

輝かしい2006年の新春をご家  
族お揃いでお迎えのこととお慶び申  
し上げます。

昨年は、衆議院選挙での自民党の  
圧勝によりまして、国内外に重要な  
政策が打ち出されるなか、郵政民営  
化の決定、政府系金融機関の民営化、  
イラクに駐留する自衛隊の派遣延長、  
北朝鮮の拉致問題、三位一体改革等  
今までにない大きな課題が山積をし  
ております。河内町の基幹産業でも  
あります農業、特に稲作については、  
昨年は天候にも恵まれ豊作で、米価  
は2年連続で下落をいたしました。第3  
農家経済を直撃しております。第3  
セクター(株ふるさと)かわちでは一昨

年同様の価格で買い上げをし、農業  
者のために努力をいたしております。  
発足当時より販売している「おかず  
のいらぬかわちのお米」のアンケー  
トを全国の新聞・雑誌などで行った  
結果、3千通の回答のうち21・3%  
の消費者が、「知っている」と答え  
がありました。地道なPR活動が実  
を結び、ブランドとして全国的にも  
大変有名になってまいりました。直  
販センターにおいても地元野菜は好  
評で売り上げが堅調に推移しており、  
会社は5期連続で黒字決算となって  
おります。

現在、建設中であります第2栄橋  
も18年度中に開通いたします。この  
橋の完成により河内町が大きな変貌  
を見られることと思います。生板バ  
イパスについても早期着工を図るべ  
く土木事務所との話し合いをしてお  
り、また、浄玄橋については長い間  
ご不便をおかけいたしました。完成  
をいたします。首都圏中央連絡自動  
車道の早期完成等、交通網の整備等  
あわせて町独自でコミュニティバス  
の運行を行い、地域の活性化を図り  
ます。

公共下水道事業も引き続き生板、  
長竿地区の施設工事を行っております。  
大変厳しい財政状況の中ではあ  
りますが今後も推進をしてまいりま  
す。

毎年行っている地域懇談会も11回  
目となりました。昨年は4会場で行

い多くの方に出席を頂き、要望、意  
見等を伺い、これからの行政に反映  
をしてまいります。

少子高齢化時代を迎え、河内町に  
おいても昨年は11月末でわずかに42  
名の出生と少子化が進んでおります。  
町では2人目以上の新生児の保護者  
に次世代を担う子供たちの健全な育  
成のために支援金を支給するなど、  
町独自の諸施策の展開を図ってまい  
ります。

長引く景気低迷の中、国民生活は  
大変な時代を迎えております。各地  
方自治体も非常な財政難であり、河  
内町では行財政改革を進めるため、  
役場内に推進本部を設置し、全職員  
参加による総点検を行うと共に、町  
民代表者による行政改革推進委員会  
の皆様にご意見を頂き「行政改革  
大綱」を策定しました。「明るい・  
元気の出る・安心して暮らせる町政」  
を目指して、下水道など生活環境の  
整備、少子高齢化に対応した福祉施  
設の充実を重要課題として各種の事  
業を推進し、財政運営では、役場職  
員の定数管理、少子化に伴う学校、  
保育所などの統廃合、効率的な民間  
委託などによる経費削減を図ること  
により、足腰の強い行政運営を行っ  
てまいりたいと思っております。

どうか皆さん方のご協力をお願い  
申し上げますとともに、良い年であ  
りますようご祈念申し上げ新年のご  
挨拶いたします。

# 活力と希望と かわ



河内町議会議長

大野 佳 美

新年 明けましておめでとうござ  
います。

平成18年の年頭にあたり、町議  
会を代表いたしまして、謹んで新年の  
ごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ますますご清  
栄にて、よいお年をお迎えのことと心  
よりお慶び申し上げます。

昨年の日本経済は、長引く不況を  
乗り越え、緩やかに好況へと向えて  
いるものの、地方においては依然と  
して経済状況は停滞感の強い、極め  
て厳しい状況にあり、雇用環境や少  
子高齢化等、深刻な課題が山積され  
ております。また、自然災害も多い  
年で、特に台風等により各地域でた  
くさんの人々に災害をもたらした年

でもありました。明るい話題では、  
愛・地球博が愛知県で開催され多く  
の人々が参加し賑わいました。また、  
紀宮清子さまがご結婚され国民が喜  
びに浸ったところ です。一方、政治  
では衆議院総選挙において自民党が  
圧勝し、第三次小泉内閣が発足した  
ところでもあります。

河内町では、少子高齢化は年々進  
行し、米価は一昨年並みの低価で農  
家の収入に大きな影響を及ぼし、民  
間企業においても景気の回復は未だ  
みられず、大変厳しい状況になつて  
おります。

一方、町行政においては、厳しい  
財政状況の下、行政改革大綱を作成  
し、一貫した行政改革を推し進め、  
真の地方分権に対応できる行政の確  
立に向け努力しているところであり  
ます。

このような中、町議会においても  
行政改革の一環として、定数の削減、  
議員報酬等の削減を実施してきたと  
ころです。

本年の河内町の最大の課題は、行  
政改革大綱に沿った行政改革の推  
進と実行にあると考えております。  
この改革は、住民の皆様方の生活環  
境の整備や住民福祉の充実につなが  
るものであります。議会といたしま  
しても、町の行政改革はもとより、  
国に対しても、住民が安心して暮ら

せる町づくりのため、地方分権によ  
る自己決定、自己責任の原則に基づ  
き、創意工夫をもって自主的、自立  
的な行政が可能となる地方財政基盤  
を確立するよう強く要望してまいり  
たいと思います。

将来の河内町が「活力と希望と誇  
れる町」になることを目指し、多様  
化する住民ニーズに応えるため、な  
お一層の努力をしまいたいと思  
っております。

今後、我々議員一同も真の地方分  
権の実現のため、町発展のため、議  
会の果すべき役割と責任を自覚し、  
町民の皆様のご期待に添うよう決意  
を新たにいたし、将来の町づくり  
に誠意努力する所存であります。

最後になりますが、皆様のご健康、  
ご多幸をお祈り申し上げますと  
も、本年も議会に対して相変わらぬ  
ご支援とご協力をお願い申し上げま  
して、新年のごあいさつといたしま  
す。



# 河内町民憲章

わたしたちは、河内町民として先人の偉業を誇りとし、かぎりない未来をみつめ真の豊かさに住みよいまち河内をつくるため、この憲章を定めます。

- 一 水と緑の自然を愛し、心豊かなまちをつくりましょう。
- 一 文化とスポーツを愛し、夢あるまちをつくりましょう。
- 一 仕事にはげみ、ゆとりと潤いのあるまちをつくりましょう。
- 一 地域の平和ときまりを守り、明るいまちをつくりましょう。
- 一 共にささえあい、希望に満ちたまちをつくりましょう。



大好き かわち 交通安全ふれあいのまち  
守ろう!高齢者 STOP!飲酒運転

河内町実行委員会 / 大好き いばらき 県民会議 / 茨城県交通対策協議会